事例No.	2694
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	社会福祉法人こころん

事例区分	地域活性化

タグ	・福祉・介護 ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

社会福祉法人こころん

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

社会福祉法人こころん　福島県泉崎村

地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　若者自立支援　コミュニティ　その他（福祉の向上）

概　要

平成18年の障害者自立支援法の施行により、障がい者が働くための各種環境が改善したことを契機に、本団体は、地元の方々の協力も得て農業と福祉が連携して農産物等を地元で販売する場所として「直売・カフェ　こころや」を開設し、障がい者の雇用の場を提供している。

直売所では、耕作放棄地を開墾した「こころんファーム」で作った野菜や、平飼い養鶏場「こころんファーム養鶏場」で採れた卵なども販売している。野菜や卵は直売所だけでなくスーパー等にも出荷されており、就業に自信をつけた利用者が一般企業に就職するケースもある。

農業と福祉のコンビネーションにより、障がい者の自立や地域経済活性化を促進しており、新しい地域コミュニティづくりのモデルケースとして注目を浴びている。



【直売・カフェ　こころや】



【こころんファーム】
（2018年JGAP認証取得）



【こころんファーム養鶏場】
（2019年JGAP認証取得）

評価された点

・地元の農業を活かし、障がい者の雇用を多く生み出すだけでなく、障がい者の工賃が全国平均の1.5倍であり、障がい者の労働基盤を支えている。地産地消と障がい者自立支援の動きをもたらしている。
・障がい者の働き方、地域との連携の可能性を可視化した実践的な取組である。
・障がい者の雇用に向けた農福連携による環境整備であり、地域との協働性が健全なコミュニティ形成に役立っている。このような地域の主体性が、本事業の継続性、発展性に繋がり、シナジー的な効果を引き出していると考えられる。
・農業と福祉の連携、そして、地域全体でつながり合うことを理念として成果を積み上げてきている。未来型のふるさとづくりであり、全国的にも、これからの「混ざり合う」コミュニティづくりとして、お手本になっていくと考えられる。